

## タンキューする科学 ～探求から探究へ～



現在、さまざまな場面で「探究する力」が求められています。「探究」とはなんでしょうか？身の回りのことでもなにか気になることを見つけたらそれが「探究」の始まりです。「問い」を立て、多角的に調査を行うことで、まず「探求」します。そこからさらに理屈を追究することで「探究」へと進んでいきます。この過程で重要なのは、「仮説を意識した考え方（科学的思考）」であり、これによって課題の設定や情報収集がスムーズになります。

本講座では、大学で科学的思考についての講義を担当しているさまざまな分野の研究者が、具体例をもとに探究の手法や実践について紹介します。

### 第1回 6/14（土） キッチンでタンキューする

土原 和子 データサイエンス学科准教授

私たちにとって身近で欠かせないキッチン。ふだん何気なく使っていますが、実は不思議な科学で満ち溢れています。今回はキッチンでできることで科学してみましょう。簡単な実験を交えながらタンキューしましょう。

### 第2回 6/21（土） 色をタンキューする

村上 弘志 データサイエンス学科教授

虹が七色に見えるのはなぜでしょうか？色とはそもそも何か、身の回りのものの色が違って見えるのはなぜなのか。色についての疑問を通して光の性質をタンキューしましょう。

### 第3回 7/5（土） 眼をタンキューする

牧野 悌也 データサイエンス学科教授

錯視とは何か、私たちは錯視図形に何を見ているのか？ パワーポイントを使って錯視図形を作成し実験することで、私たちの眼をタンキューしましょう。

### 第4回 7/12（土） 直感をタンキューする

菅原 研 データサイエンス学科教授

「100gの鉄より100gの羽毛のほうが軽そう」のように、感覚と事実に食い違いを感じるものが存在します。いろいろな事例を通してそのような食い違いについてタンキューします。

- ▶会場：五橋キャンパス シュネーダー記念館1F 未来の扉センター  
(地下鉄南北線五橋駅南2出入口直結)
- ▶時間：13:30～15:00 (受付開始 13:00)
- ▶対象：目安：高校生以上 (ですが小中学生も歓迎！)



お申し込みはこちら  
(各回前日16時まで)

